

西の丸に 大和町社協(宮城)から感謝状

西谷会長「今後も謝恩報恩の心で」

平成27年の支援たたえ

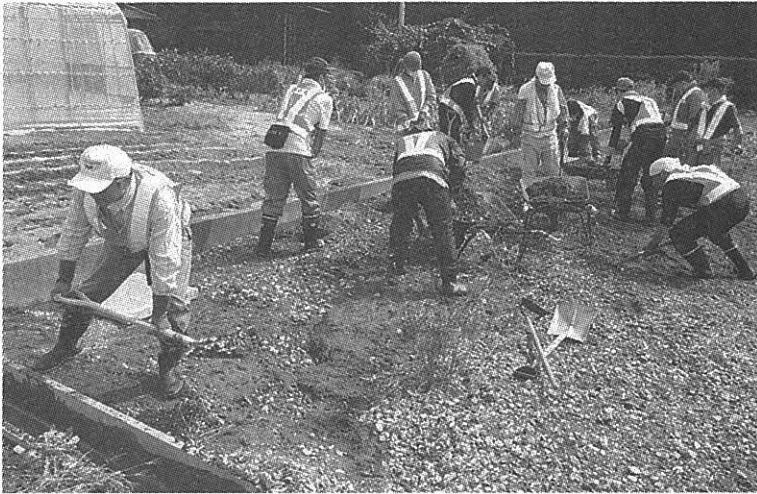
東北を中心に遊技場を展開する西の丸グループ(本社・門川町、西谷淳社長)にこのほど、宮城県黒川郡の大和町社会福祉協議会から感謝状が届いた。平成27年に同社が被害に遭った大和町を訪れ、ボランティアで支援に取り組んだことをたたえるもので、大和町社協の法人化50周年記念福祉大会の席上で贈られたという。

大和町は同27年9月10



届いた感謝状を手にする西谷栄一会長

11日に発生した関東・東北豪雨で約2千畝が浸水し、多大な被害に遭っ



宮城県黒川郡大和町で活動する西の丸社員(平成27年9月)提供写真

た。同社では14日にトラックなど車両5台に機材を詰め込み、20人で復旧支援へ出発。カーフェリーや陸路約840キロの道を経て、16日に現地入りし、20日までの5日間滞在した。被災地では、川の氾濫により地域一帯に流入した土砂の運び出しや土手補強のための土の作り、雑木の切り出し作業を行った。

20171212
夕刊デイリー新聞記事

大和町社協の50周年記念福祉大会は11月10日に行われた。西の丸からの出席はかなわなかったが、後日、感謝状が届いたという。同社の西谷栄一会長は「涙を流して感謝してくる大和町の方々に私達も笑顔と涙で活動しました。感謝状をいただき、とても励みになります。今後も謝恩報恩の心で取り組んでいきたい」と話した。